

自然教室チームだより ①

月ヶ瀬小学校 校庭の自然観察会
実施報告

6月21日(土)心配していた雨にも降られず楽しい観察会を実施することができました。

全校児童60名強という小さな学校ですがその中で24名の子どもたちが参加してくれました。

校庭の不思議発見をテーマに4つの植物を観察しました。まずはマツボックリ探しです。今年と去年、そして一昨年以前のマツボックリを同じ一本のマツの木で探してもらいました。その後は松葉のお相撲



です。定番の匂いではゲッケイジュとトマトとドクダミの匂

いの比較です。トマトの葉っぱの匂いが良いという子どもが多かったようです。

校庭に少し生えていたブタナを取り上げ、タンポポと比較してもらいました。その後はタンポポ笛に挑戦です。すぐに鳴らせた子供がいる一方、なかなか鳴らせずにしょんぼりしている子供もいました。笛はなかなか難しいです。

いろいろな葉っぱでは校庭に生えているいくつかの葉っぱを並べて、違いをいろいろ発見してもらいました。イチョウの葉っぱの写し絵もしました。きれいに葉脈を写し出していた子が何人かいました。

最後はフタバガキをまねしたヘリコプターを作り、空に向けて飛ばす工作です。みんな一生懸命に作って飛ばしていました。1、2年生には輪ゴムを使って発射させることが難しく反省事項でした。

付添いの大人も含めて楽しい観察会ができたと思います。(倉田 晃)

佐保台小学校 校庭の自然観察会
実施報告

6月25日(水)約40名の子どもたちを対象に校庭の自然観察会(植物)を実施しました。今回で6回目になります。今年のテーマは「自然の不思議を学ぼう!」です。

子ども達が大体一巡する4年間は取り上げるポイントがダブらないようにしようと考えてこれまでやってきました。

今回は4年前に取り上げたイロハモミジとミツバアケビは使いましたが、残りは新しい対象を取り上げました。飾り花の目立つガクアジサイ、校庭一面に生えていたブタナ、葉っぱのいろいろです。

ガクアジサイでは実際に実を作る花と飾り花の違い、そしてセイヨウアジサイの由来を取り上げました。ブタナは下見の時と打って変わってわずかしが残っておらず、大変でした。葉っぱのいろいろはあらかじめスケッチした図をもとにその葉っぱを探して歩きました。

またいろいろな自然遊びを取り入れました。モミジのプロペラ飛ばし、タンポポの笛、クズの葉のポンです。

子どもたちはそれぞれのポイントで自然の不思議に接し、また、自然遊びを楽しんでくれたと思います。

工作はカボチャの種などを使った「ヒマワリやトンボの飾



り」作りです。入念に準備した効果もあって、子どもたちはそれぞれにたつぷりと工夫を凝らした作品を作りあげました。

参加スタッフは9名でそれぞれ子どもたちとの触れ合いを楽しみました。(倉田 晃)